

# ふるさと文化館ニュース

Newsletter of Nerima Shakujikoen Furusato Museum

## 「産業で振り返る 練馬の近代」

企画展



木びき鋸  
人力で丸太より製材するための縦びきののこぎり。



茶摘み鋏  
刈り取った茶の葉を入れる集葉袋が付いている茶摘み専用のはさみ。



上州座繰器  
取っ手を回すと歯車の作用で、繭から生糸を取ることができる道具。



かき桶  
醤油や味噌の原料である大豆や小麦を貯蔵容器から取り出す道具。



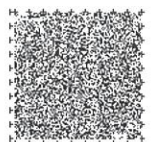
金づめ  
沢庵漬に使用する漬物石を運ぶ道具。

令和5年4月8日(土)～6月4日(日)

観覧  
無料

練馬区立 石神井公園  
ふるさと文化館  
NERIMA SHAKUJIKOEN FURUSATO MUSEUM

新型コロナウイルスの感染状況により、本誌掲載イベントのほか当館が主催するイベント等が中止や変更となる場合がございます。イベント等の実施につきましては、当館までお問合せいただくか、当館ホームページにてご確認くださいませますようお願いいたします(随時更新いたします)。





# 企画展 「産業で振り返る練馬の近代」

- 会 期: 令和5年4月8日(土)～6月4日(日)
- 会 場: 石神井公園ふるさと文化館2階 企画展示室
- 観覧料: 無料

練馬区域では、明治12(1879)年に器械製糸場が創業するなど、様々な産業が発展しました。近代は、特産物の練馬大根の生産が最盛期を迎えた時代ですが、農作物の栽培に加えて、養蚕・製糸業、撚糸業、製茶業、製藍業、醤油醸造業、水車の動力を利用した製粉・精穀を始めとした加工業などが行われた時代でもありました。

明治期、政府は殖産興業をスローガンに掲げ、西洋技術の紹介と国内産業の技術を競い高め合うことを目的に内国勸業博覧会や、地域や製品を限定して生産者や販売者に優劣を競わせて品質改良や産業振興を図る共進会が開催されました。練馬区域の人々も出品し、明治10(1877)年開催の第一回内国勸業博覧会では、上練馬村の相原房次が沢庵漬で褒状を授与されています。また、業種ごと、地域ごとに組合が作られ、技術講習会を開催したり、商品に関する取り決めを結んだりしました。さらに、村内で青年会が組織されたり、品評会が開催されたりするなど、地域でも産業技術を高める動きがありました。

本展では、かつて練馬区域で行われていた産業から、練馬区域の近代について振り返ります。

## 関連イベント

### 講演会「江戸・東京の変遷と近郊農村」

日 時 令和5年5月20日(土) 14時～15時30分  
講 師 落合 功(青山学院大学経済学部教授)  
定 員 90名(抽選) **参加費 無料**  
会 場 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室

※詳細は本展チラシ、ホームページ等をご確認ください。

### 展示解説会

日 時 令和5年4月26日(水)、5月28日(日)  
各回14時～30分程度  
定 員 50名(当日先着順) **参加費 無料**  
会 場 企画展示室(直接会場にお集まり下さい)

## 収 蔵 品 「道場寺旧蔵の石器と土器」からみる石神井

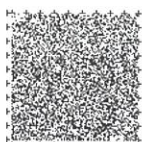
令和4(2022)年、道場寺(石神井台1-16)から石器や土器が練馬区に寄贈され、現在、当館1階のわがまち練馬情報コーナーの「石神井公園の紹介」で展示しています。道場寺は、都立石神井公園南に位置する曹洞宗の古刹です。展示ケースは、道場寺にあった時から本堂に置かれていて、石器と土器を入れていたものでした。背面には、「昭和九年七月廿一日午後 富岡彦太郎氏 於小中原畑発掘」と貼り紙があり、昭和9(1934)年に当館周辺の旧字名である小中原あざめい こなかばらで発見されたもので、池淵遺跡の出土品とわかります。池淵遺跡は都立石神井公園付近一帯が範囲内となっており、当館隣接の練馬区立池淵史跡公園でも、旧石器時代・縄文時代・中世の遺跡が発見されるとともに縄文時代中期の竪穴式住居跡が16軒確認されています。

石神井周辺は、大正4(1915)年の武蔵野鉄道(現西武池袋線)開通以後、歴史的に見どころのある風光明媚な場所として広く知られるようになりました。大正5(1916)年に考古学者の鳥居龍蔵らによって結成された武蔵野の自然と歴史・文化を研究する「武蔵野会」(現武蔵野文化協会)でも、石神井は注目され、会員の山中笑が、「東京を去ること西へ五里、北豊島郡の西南端に位する一農村石神井村是なり、(中略)、都塵を免れ記者が『夢の里』と命名するほどの静観の平和を保有せり」(『武蔵野』1巻1号 大正7(1918)年)と紹介しています。武蔵野会では、戦前、研修旅行で石神井周辺に4回訪れました。昭和17(1942)年6月18日の「石神井方面見学」では、「六月二十八日午前九時、武蔵野鉄道池袋駅を出発、石神井公園に下車すれば、駅頭には当日の行程に就て一方ならぬ御高配を蒙つた柴田常恵先生並に道場寺大村仁道師に迎へられ、一行は直に長命寺に向つた。(中略)禅定院に於て柴田先生説明の下に切支丹燈籠を見学の後、豊島山道場寺に休憩、中食。同寺は石神井城主豊島氏の菩提寺で堂宇は昭和十二年藤原時代の様式により改築せられ、壮観を極めたものであつた。板碑、発掘品、古文書、豊島氏過去帳其他を見学の上、柴田先生、大村師、浦邊氏、三宅氏の趣味深き御談があつた。(中略)三宝寺池を渡り、つげの木稲荷に詣でて散会した」(『武蔵野』29巻

7号 昭和17(1942)年)とあり、道場寺にも来訪し、発掘品を観覧した旨が記されています。

(学芸員 小宮佐知子)

道場寺旧蔵の石器と土器





## コラム 石神井周辺における明治期の養蚕・製糸業

石神井周辺では、幕末期より養蚕業が行われていました。上石神井村名主の栗原仲右衛門は、文久2(1862)年に信濃国松代(現長野市)にて飼育法を学び、近郷でいち早く養蚕に取り組みました。

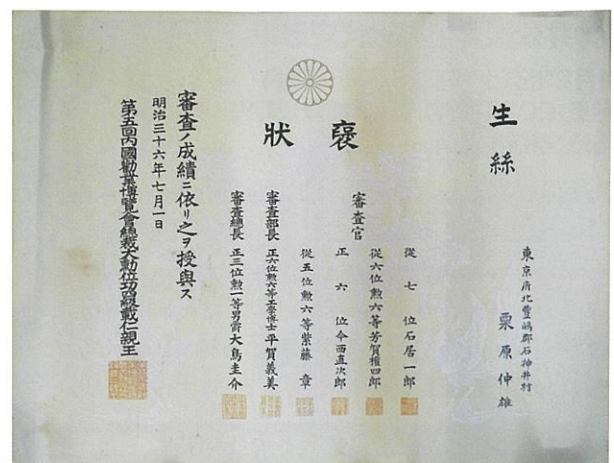
明治期に入ると、生糸が国外輸出の中心商品となり、政府の養蚕奨励により東京の近郊農村でも、養蚕が盛んに行われるようになりました。生糸輸出拡大の中で、政府は生糸の品質低下を防ぐため、明治5(1872)年、東京府に「蚕種製造売買戒告」を発しています。これを受けて、東京府には、明治6(1873)年、生糸の品質管理を目的とする生糸改会社が青山北町(現港区)、小船町(現中央区)、下石神井村の3箇所に設けられました。東京の中心部の2箇所とともに、練馬区域に生糸改会社が置かれたことから、周辺地域で養蚕が行われていたことがわかります。

明治13(1880)年、養蚕業の品位改良のため、頭取に上石神井村の栗原仲右衛門、副頭取に橋戸村の荘惟善、幹事に下土支田村の関口仙太郎が就任して、29名からなる繭生糸製造営業人組合が設立されました。近郷での養蚕家を増やし、繭や生糸の改良法を説諭して、精良品を作るように努め、「生糸製造営業人申合規約」を設けました。明治18(1885)年、農商務省が蚕糸業組合準則を發布したことを受けて、東京府では中部(区部)・東部(北豊島郡・南足立郡・南葛飾郡)・西部(荏原郡・南豊島郡・東多摩郡)の3部に分けて蚕業組合結成を促しました。明治19(1886)年、東京府東部蚕業組合が結成され、頭取に本橋勝右衛門、副頭取に栗原仲右衛門が就任しました。

本橋勝右衛門と栗原仲右衛門は、養蚕だけでなく製糸業にも取り組みました。栗原仲右衛門は、良質の生糸を出荷するために、明治12(1879)年6月、下石神井村の本橋勝右衛門と協同で出資し、資本金1万円で器械製糸工場である興就社を上石神井村に創業しました。この工場では、明治6(1873)年に創業した官営工場の勸工寮葵町製糸場のイタリア式器械を模して50人繰の器械を導入し、勸工寮の伝習生徒で技術に熟練した者を含む女工50名を雇い入れました。勸工寮葵町製糸場は、富岡製糸場に次いで創業した官営工場でした。明治13(1880)年、本橋勝右衛門は興就社を退社し、翌14(1881)年、資本金3万円で、下石神井村に東京同潤社を創業しました。東京同潤社は勸工寮葵町製糸場の払い下げを受けて100人繰の器械を設置したといえます。しかし、両社の経営は資本面や為替相場の変動、天候の影響などで悪化し、東京同潤社は明治17(1884)年に、興就社は明治21(1888)年に営業を停止しました。

残念ながら、2つの製糸工場は挫折しましたが、その後も養蚕改良の努力は続けられました。栗原仲右衛門息子の栗原仲雄は、既に、明治10(1877)年から3年間、福島県会津郡の佐藤伝平のもとで養蚕研究を行っていました。その後、蚕室の新築と飼養法を改良し、その成果をもとに、周辺の人々に蚕室や蚕紙の適否を説明したり、蚕種を提供したりして養蚕の普及に務めました。明治20(1887)年に開かれた神奈川県主催の第一府九県繭糸織物連合共進会では、栗原仲雄は東京府から審査員に任命されています。この共進会では、東京府からの繭の出品149件に対し、上石神井村からは14件、下石神井村からは5件、東京府からの座繰製糸の出品11件に対し、上石神井村からは4件の出品がありました。明治36(1903)年開催の第五回内国勸業博覧会では、栗原仲雄は生糸で褒状を授与されています。大正期頃まで養蚕は石神井周辺で盛んに行われました。

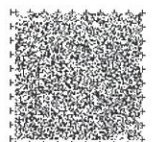
(学芸員 小宮佐知子)



第五回内国勸業博覧会褒状 明治36(1903)年

## 令和5年度展覧会年間予定

事業名	会期
企画展「産業で振り返る練馬の近代」	令和5年4月8日(土)～6月4日(日)
企画展「田中小実昌(仮称)」	令和5年6月17日(土)～8月13日(日)
特別展「紙のおもちゃ展(仮称)」	令和5年9月16日(土)～11月5日(日)
企画展「練馬のお宝展(仮称)」	令和6年1月20日(土)～3月17日(日)





# 催し物のご案内(4月～6月)

## 石神井公園ふるさと文化館展覧会

### 企画展「産業で振り返る練馬の近代」

4月8日(土)～6月4日(日)

※展覧会および関連イベントの詳細等につきましては、2ページをご覧ください。

### 企画展「田中小実昌(仮称)」

6月17日(土)～8月13日(日)

## 季節展示

歳時にあわせた年中行事を再現し、季節ごとに飾りつけなどを行います。

**五月人形飾り** 4月26日(水)～5月5日(金) 観覧無料

**七夕飾り** 7月1日(土)～7月7日(金) 観覧無料

## ふるさと文化講座

歴史・民俗・自然など様々なテーマの講座を行います。

### 中世豊島氏末裔のご先祖探し

4月15日(土) 14時～16時

講師:今野 慶信(駒沢女子大学非常勤講師)

定員:90名(抽選) 参加費:無料

会場:石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室

申込:事前申込制

## 区内散策事業

### 石神井公園周辺の近代史散策

4月29日(土・祝) 10時～12時

定員:20名(抽選) 参加費:50円

申込:事前申込制

## ギャラリー展

### ホテルー生命の輝きー写真展

6月1日(木)～7月17日(月・祝) 観覧無料

## ホテルの夕べ

当館で育ったホテルの観賞会を行います。

淡い光をお楽しみください。

開催 6月中旬頃 事前申込制

詳しくは5月頃、ホームページ等でお知らせします。

## 分室

### 五味康祐のオーディオで聴くレコードコンサート

4月22日(土)、5月27日(土)、6月24日(土)

Ⓐ:13時30分～15時 Ⓑ:15時30分～17時

対象:中学生以上

定員:各回16名(抽選)

参加費:各回300円～500円(解説員により異なる)

会場:石神井松の風文化公園管理棟2階

五味康祐オーディオ展示室

申込:事前申込制

### ピアノによるミニコンサート「春」

4月16日(日) 14時～15時

対象:小学生以上

定員:100名(抽選) 参加費:100円

会場:石神井松の風文化公園管理棟2階 多目的室

申込:事前申込制

※各催しの開催時期・内容は変更になることがあります。また、募集時期・申込方法については、ねりま区報や当館ホームページ等でお知らせします。

## 利用のご案内(令和5年3月現在)

開館時間 9時～18時(会議室の利用は、9時～21時30分) 入館無料 ※特別展は有料

休館日 月曜日(月曜日が祝休日のときは、その翌平日)、年末年始(12月29日～1月3日)、臨時休館日

	石神井公園ふるさと文化館	徒歩10分	分室
最寄駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分</li> <li>西武新宿線「上井草駅」下車 徒歩25分</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分</li> </ul>
バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>西武バス 「JA東京あおば」下車 徒歩5分 荻14(石神井公園駅南口～上井草駅～荻窪駅)</li> <li>みどりバス「JA東京あおば」下車 徒歩5分 関町ルート(関町福祉園～武蔵関駅南口～上石神井駅～練馬高野台駅～順天堂練馬病院)</li> <li>西武バス「三宝寺池」下車 徒歩2分 荻15(長久保～大泉学園駅南口～上井草駅～荻窪駅～阿佐ヶ谷駅)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>西武バス 「石神井郵便局」下車 徒歩1分 吉60(成増町～石神井公園駅北口～上石神井駅～吉祥寺駅)</li> <li>荻15(長久保～大泉学園駅南口～上井草駅～荻窪駅～阿佐ヶ谷駅)</li> </ul>



## 石神井公園ふるさと文化館ニュース Vol.46

令和5(2023)年3月1日発行

編集・発行 練馬区立石神井公園ふるさと文化館(公益財団法人練馬区文化振興協会)

ホームページ <https://www.neribun.or.jp/furusato.html>

石神井公園ふるさと文化館 住所 〒177-0041 東京都練馬区石神井町5-12-16

TEL:03-3996-4060 FAX:03-3996-4061

石神井公園ふるさと文化館分室 住所 〒177-0045 東京都練馬区石神井台1-33-44